

積載物をその場ですぐ計量！回収をより効率的に！ 計量装置付脱着ボデー車「スケールフックロール」を新発売

極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長：筆谷 高明 特装車事業、環境事業、パーキング事業）は、脱着ボデー車の新機種（商品名：スケールフックロール）を開発し、平成21年4月20日より発売いたします。

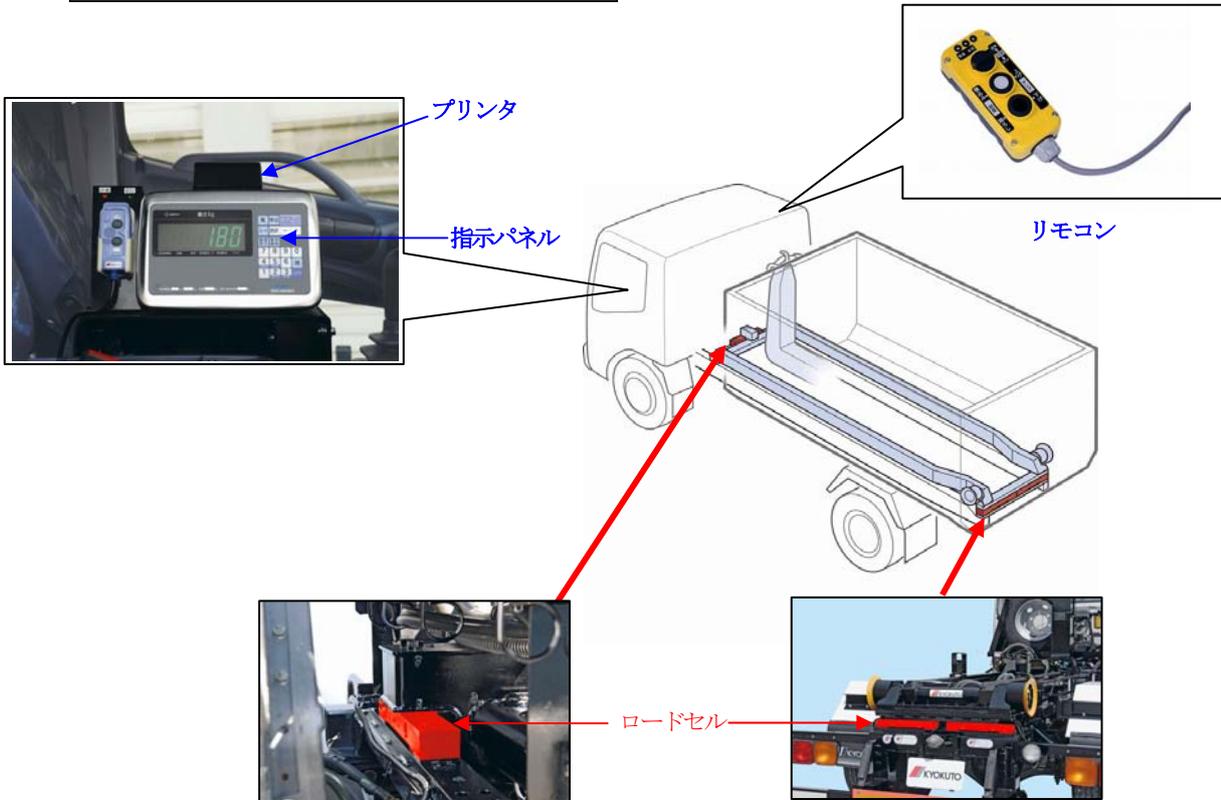
脱着ボデー車は、車両（キャリア）と荷台（コンテナ）が分離できる車で、1台の車両に対し用途に応じたコンテナを使用することで、荷役の軽減、コストの低減を図ることができます。今回開発したスケールフックロールは、脱着ボデー車に計量装置を搭載したもので、回収した積載物の重量を回収した場所ですぐに計量してアウトプットできるようになりました。産業廃棄物処理の際のマニフェスト制度においては排出した廃棄物の量を「重量」で記載することが求められています。今後ますます廃棄物の計量に対するニーズは高まるものと考えられます。

新機種の投入により、フックロールシリーズの商品力の強化を図り、お客様の満足度の向上に努めてまいります。



計量装置付脱着ボデー車「スケールフックロール」

「スケールフックロール」のポイント！



- ※1. ロードセル（荷重変換器）とは重量を計量するセンサーで、荷重を電気信号に変換するものです。
- ※2. ロードセルの標準仕様は黒色ですが、上記画像は説明のため着色しています。
- ※3. 実際にはロードセルカバーがつきますが、上記画像は説明のため取り外しています。

1. その場で計量して、アウトプット



積載物の重量をすぐに計量して、プリンタでアウトプットすることができます。排出者は、排出量の把握ができるため、会計がより明確になります。

2. わかりやすい重量表示



重量をkg単位で指示パネルに表示するのでわかりやすく、マネーフェスト制度にも対応します。過積載の防止にも役立ちます。

3. 回収効率がさらにアップ



積載した際にトラックスケール^(※)に載せて計量する手間が省けるので、回収効率がアップします。

※トラックスケールとは、車両の重量を測定する装置のことです。

4. 精度もバツグン

前方1箇所、後方2箇所の計3箇所にロードセルを配置しており、高精度計量を実現しました。

5. コンテナを事前に登録

100種類のコンテナ重量を事前に登録して、指示パネルで呼び出すことができるので、コンテナの中身をスピーディーに把握できます。

6. リモコンを装備

コンテナの脱着やダンプ作業のために、リモコンが標準装備されています。

7. 販売価格

希望小売価格 5,670千円（消費税込み）
※シャシ、コンテナの価格を除く。

（ご参考） マニフェスト制度とは

マニフェスト制度とは、産業廃棄物の排出者がその処理を委託するときに、産業廃棄物の種類、数量、委託先などを記入した産業廃棄物管理票（マニフェスト）を委託先に交付して、処理の流れを確認する仕組みです。排出者が委託先から処理が終了したことを記載したマニフェストを受け取ることで、委託内容どおりに処理されたことを確認することができます。

不適正な処理や不法投棄の防止の観点から、委託処理する産業廃棄物はマニフェストで管理することが法律（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）で義務付けられています。

<広報お問合せ先>

極東開発工業株式会社 経営企画部

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6-1-45

電話 (0798) 66-1500 F A X (0798) 66-8146

ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>